

令和3年度 第1回甲賀市下水道審議会 概要報告

1. 開催日時 令和3年4月28日(水) 午前9時30分から午前11時15分まで
2. 開催場所 甲賀市役所 第1委員会室
3. 審議会委員の委嘱状交付
4. 議 題 下水道使用料改定について
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 出席者
委員 的場委員、森村委員、大林委員、金森委員、曾和委員、鵜飼委員、
寺井委員、瀬古委員、堀崎委員、吉田委員、望月委員、青木委員
以上12名
事務局 上下水道部 伊藤部長、黒田次長
下水道課 杉本課長、小嶋課長補佐
上下水道総務課 三日月課長、伴課長補佐、大谷係長、望月係長
7. 傍聴者数 1人
8. 会議資料 別紙のとおり
9. 議事の概要

○出席委員数の報告

出席委員は15名中12名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市下水道審議会規則第4条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告

○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の、会議内容の公開、非公開についてであります。当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

よって、全て公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく、委員として公開させていただきます。

(全員異議なし)

○審議：下水道使用料の改定について

事務局 下水道使用料改定について (資料に基づき説明)
(質疑)

委員 赤字にならないように使用料を設定しなければならないことはわかるが、基本使用料20m³で3,000円の設定について、生活困窮者について配慮するとしたら、いくらぐらいまでなら下げられるのか。

事務局 排水量ごとに金額を設定することはできますが、生活困窮者など特定の方だけに個別の使用料金を設定することは現実的ではありません。

委員 P29 他市町の動向は。今後10年はどうか。

事務局 今後10年の把握はできないが、現在のところ3市がこの先数年の内に使用料改定を検討していると聞いております。なお、改定幅については把握しておりませんが、最近10年で改定された守山市は約9.1%、湖南市約9.8%、東近江市約20%、大津市約12%です。

委員 P28 前日も申し上げたが、基本料金の値上幅が大きい。生活困窮者は使用料が少ない方が多いと思われるので、基本料金を下げてもらいたい。

P27 固定費の30%とあるが、これを25%にするなど、検討していただきたい。

事務局 次回審議会で資料を提示します。

委員 P18 人口減少を見込んでいるということだが、令和7年度の使用水量が増える予測になっている。なぜか。

事務局 信楽地域の面整備や民間宅地開発での接続件数増加を見込んでいますが、2028年までの全体的な人口動態としては減少傾向です。

委員 P29 竜王町は、一般家庭の料金は高く、大口企業が安い。大企業を誘致したいという方針が明確。

甲賀市は、どちらも真ん中。甲賀市は政策的にどのようにしたいのか。

事務局 企業にも来ていただきたいですし、一般家庭に多くの負担をかけたいわけでもございません。どちらも大切であります。

下水道事業を健全に経営していくためには、使用料改定は必要です。それぞれの負担割合をどのようにするのが最も適切なのかについて、委員皆様からのご意見を踏まえ、本審議会でまとめいただきたい。

委員 二兎を追うのは無理。竜王町は覚悟を決めている。

繰入金は税金。下水道使用料や水道料金が高くなれば、企業が離れる。企業がいなくなれば、税金も、使用料もなくなり、下水道事業が立ち行かなくなる。

企業経営感覚で意見させていただくと、もっと合理的に考えて、政策的に選択と集中の決断をするべき。

委員 P20 一般会計からの繰入について、次回、他市町の繰入金の割合や状況がわかる資料を準備してほしい。

事務局 次回審議会で資料を提示します。

委員 大津市は、水道が高くても、ガスは安い。甲賀市のガス料金は高い。一般家庭でも、企業でも光熱水費全体として考えると思うので、下水道・ガス・水道のトータルで他市と比較できる資料を用意してほしい。

事務局 次回審議会で資料を提示します。

委員 下水道の新規整備工事は終わっているのか。雨水工事も進めているのか。老朽管の工事が必要になると思うので、その部分も含めて示してほしい。

事務局 進捗状況について説明

委員 資料はしっかり整理されている。

人口減少等による使用料収入や一般会計からの繰入金をどうこうすることを審議会において決めることは難しいが、老朽管の更新費用などについては、この審議会で議論すべきことだと思われるので、その算定根拠を示してほしい。

事務局 次回審議会で資料を提示します。

委員 農業集落排水施設は他市町と比べて多いのか。
公共下水道に接続した方が、維持管理費が抑えられるのか。

事務局 コスト削減が見込まれる17地域を公共下水道に接続する予定。その内、貴生川地区と飯道寺地区は接続が完了しています。全て完了すると大幅なコストダウンにつながります。

委員 当日配布資料について、件数は何を示しているのか。0㎡とはどういうことなのか。

事務局 件数は年間6回の調定件数の合計。表の件数を6回で割った件数が、ほぼ実際の件数となります。0㎡は、長期出張などで不在だが閉栓手続きをされていない世帯や1㎡未満の世帯、アパートの空き家など。

事務局 次回準備する資料（5つ）について確認
今後のスケジュールについて説明

委員 現在の任期は次の6月30日までだと思うが、どうなるのか。

事務局 前回も依頼しましたが、今回の諮問に対する答申をまとめていただくまで間は、全員継続をお願いしたい。